

**片山潜** 政治運動家。日本の社会主義運動の先駆者で、<ロシア革命>後はモスクワから世界の共産主義を指導。

かたやません

**安政の大獄**・1859 = 美作国久米南条郡(岡山県久米郡)羽出木村で、庄屋を祖父として次男に生まれる。

**桜田門外変**・1860 = 1歳 :

**明治維新**・・1868 = **9歳** : 母とともに分家し、農業に従事。

**明治6年政変** 1873 = 14歳 :

**西南戦争**・・1877 = **18歳** :

琉球処分・・1879 = 20歳 : 徴兵忌避のために片山家に養子縁組、片山潜と改める。

・・・・・1880 = 21歳 : 岡山師範に入学するも、

**明治14年政変**1881 = 22歳 : 上京して印刷工となり、塾僕として漢学を学ぶうち、

秩父事件・・1884 = 25歳 : **'アメリカは貧乏でも勉強ができる'**と聞いて、

**渡米**、  
デイワークやコックなどしながら、

帝国大学始・1886 = **27歳** :

**国民之友始**・1887 = 28歳 : **オークランドのホプキンスアカデミー入学を振り出しに、**

**帝国憲法発布**1889 = 30歳 :

メリービル大学予科・グリーンネル大学・同大学院・アンドーバー神学校を経て、

**アメリカでの生活、イギリスの社会事情・労働運動の見聞を通して社会運動に確信をもち、**

**イエール大学神学部を卒業、文学修士・神学士の資格を得て、**

**日清戦争始**・1894 = 35歳 :

**日清戦争終**・1895 = **36歳** : **帰国。**

八幡製鉄始・1897 = 38歳 : **\*神田にセツルメント"キングスレー館"を開いて社会事業を開始する一方、社会問題研究会に参加して評議員となり、高野房太郎の紹介で労働組合期成会の結成に参加、以後諸組合の結成・活動を主導するなど、キリスト教社会主義者として、直接社会に働きかける日常的な要求を主張して活動を行う。**

子規句歌革新1898 = 39歳 : **安部磯雄らと社会主義研究会(のち社会主義協会となる)を組織、**

**ピア国産化**・1900 = 41歳 : **第二インターナショナルパリ大会で本部員に選出され、普通選挙期成同盟会に参加して幹事となる。**

田中正造直訴1901 = 42歳 : **日本最初の社会主義政党(社会民主党)を結成するも即日禁止となるが、以後全国遊説。**

**日露戦争始**・1904 = **45歳** : **\*第二インターナショナル(アムステルダム大会)に日本代表として出席し、交戦国代表ロシアのプレハーノフとともに反戦アピールを世界に向けて行い、世界の注目を浴びる。**

**日露戦争終**・1905 = 46歳 :

満鉄発足・・1906 = 47歳 : **帰国して、日本社会党に参加、**

**韓国反日暴動**1907 = 48歳 : **幸徳秋水ら直接行動派と対立する議会政策派を支持するが、**

**アソシ** 創刊・1908 = 49歳 : **<赤旗事件>後、当局の取締まりが強化され、**

**韓国併合**・・1910 = 51歳 : **大逆事件によってすべての解放運動が停止されることになった際には、(ユマニテ)などを通して広く世界に、日本政府の弾圧ぶりを紹介し、国際的に反響を引き起こすとともに、活動を続け、"東京市電ストライキ"を指導して勝利に導いたが、**

**明治天皇没**・1912 = 53歳 : **ついに逮捕・投獄され、**

**大正政変**・・1913 = **54歳** :

**第一次大戦始**1914 = 55歳 : **\*出獄後、日本の逆境を脱して世界に訴えるべく渡米、サンフランシスコを中心に活躍した後、**

民本主義・・1916 = 57歳 : **ルトガースの要請でニューヨークに移り、プロバガンダ=リーグに参加。雑誌{平民}を発行(4年間)。**

**ロシア革命**・1917 = 58歳 : **レフト=ウィングの活動に参加。ロシア革命後、共産主義に転換し、在米日本社会主義者団を組織、**

**ハルビン条約**・1919 = 60歳 : **コミンテルン結成に呼応して日本人コミュニストグループを組織し、アメリカ共産党結成に協力、**

**原敬首相暗殺**1921 = 62歳 : **極東勤労者大会組織のため、メキシコから、アメリカ・フランス・ドイツを経て、モスクワに向かい、**

**水平社結成**・1922 = **63歳** : **極東勤労者大会の名譽議長を務め、日本共産党の結成を指導。以後、ソビエトにとどまり、**

**護憲三派圧勝**1924 = 65歳 : **コミンテルン常任執行委員となって、国外から日本の共産主義勢力を、また、国際反帝同盟、国際赤色救援会などを指導し、**

金融恐慌・・1927 = 68歳 : **<二七年テーゼ>に参加、**

**満州事変**・・1931 = **72歳** :

五一五事件・1932 = 73歳 : **<三二年テーゼ>に参加するなど、最後まで尽力して、**

**国際連盟脱退**1933 = 74歳 : **\*クレムリン病院で死去した。遺骨はクレムリンの赤い壁に葬られた。**